

fff サンフレンズだより

5月17日、サンフレンズ後援会総会が開催されました。総会では、一年間の活動や会費などの決算報告がされました。今号では、日頃よりご支援いただいている青木利元会長からの応援メッセージをお届けいたします。



No. 50 2009. 7. 21
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833

「サンフレンズ後援会の原点に立ち返る」

サンフレンズの2008年度決算は、厳しいものとなりました。制度改正がその背景にあるものと思われまます。おそらく多くの介護事業者が同じような状況に置かれたことでしょう。私たちの総会では、「後援会がサンフレンズの財政支援をしてはどうか」という意見が出される場面もありました。

危機のときには、組織の原点が問われることとなります。その意味で、今年の総会は後援会の在り方に思いを巡らすよい機会にもなったと思えます。介護保険制度以前から、事業を担う社会福祉法人の中には、将来の財政の安定のために後援会を立ち上げたところがあったと聞きます。サンフレンズも後援会を発足させましたが、それはサンフレンズの財政支援を目的とするものではなかったと思えます。もし介護事業者が常に寄付などの支援を仰がなければならぬとしたら、介護保険は適正な制度設計を欠いた欠陥システムということになるでしょう。構造的な赤字経営を強いる制

度は、その制度自体を是正するより外に道がありません。

それでは、サンフレンズ後援会の原点、存在意義はどこにあるのでしょうか。人材育成や広報面での支援、地域とサンフレンズをつなげる酵素的役割、広い意味でサンフレンズの自律と発展のプロセスを側面から支援し、地域社会に根を張る手助けをすることではないでしょうか。いわば「栄養剤」的な役割が求められているのではないのでしょうか。



＜サンフレンズ後援会入会のお願い＞

地域の皆様方のご要望に添ったサービスを目指し日々努力を重ねる法人に「暖かいお心のひとしづく」をお寄せください。

個人会員：一口 2,000 円以上

団体会員：一口 10,000 円以上

同時に、ご寄付もお待ち申し上げます。

感謝録：サンフレンズ後援会にご寄付、会費を納入くださった方々に、感謝を申し上げます。

期間：2008年4月1日～2009年3月31日まで（あいうえお順に掲載させていただきます）

ご寄付をいただいた方：大西久江様、笹原典子様、白川すみ子様、田邊紀行様、前田達夫様（5名）

個人会費を納入していただいた方：青木利元様、石村延枝様、伊藤弘武様、伊藤双葉様、伊藤裕子様、今西健二様、岩本昭彦様、恵美加子様、江村三冬様、大西久江様、大場宏一様、岡本波津子様、小澤千鶴子様、小沢久子様、織田宏子様、金子功子様、河周子様、河潤之介様、河邊尚之様、岸野恵子様、桑原七重様、小泉やすお様、小林牧子様、小松悦子様、小松原昭一郎様、笹原典子様、佐藤充弘様、篠田阿津子様、志磨咸也様、志磨陽子様、清水わか子様、下元志津子様、白川すみ子様、高月三世子様、高橋勤様、高橋史子様、滝本保子様、田寺俣治様、田寺徳治様、田寺由紀様、田邊紀行様、徳田幸子様、鳥井祥子様、中田英美子様、中林起く代様、中村夫美子様、中山直芳様、中山道子様、仁平正夫様、八畠年子様、羽場令人様、福田恭子様、伯耆原功様、前田達夫様、間世田美代様、松井茂夫様、松尾広高様、山住美津子様、横田英夫様、吉岡順一様、四ツ橋昭子様（計 61 名）

団体会費を納入していただいた方：新しいホームをつくる会様、井荻地区民生委員協議会様、杉並・老後を良くする会様、鈴木組様、ももの会様、友愛の灯協会様（6 団体）

杉並の老後を良くしよう!!「職員採用のお知らせ」

サンフレンズは、“自分たちの老後を良くしていこう”と願う杉並区の市民団体から生まれました。利用者ニーズに応えるため、「住む」「通う」「泊まる」「訪問する」等のサービス機能を持っています。私たちと共によりよい高齢者福祉を目指す熱意のある方大募集中!!

職種・募集人数	資格	給与(基本給)
常勤介護職 4名	資格不問	(大学卒)月給 207,000円～258,000円 ※基本給は、経験等により決定します (短大卒)月給 186,500円～243,700円 (高校卒)月給 168,500円～214,500円 ※その他手当あり

※採用は、2009年10月1日以降とします。(要相談)

※2010年3月新規学卒者も募集中です。(採用年月日 2010年4月1日)

※非常勤も随時募集中です。時給 900円～1,300円(経験等によります)

応募方法

まずは、お気軽にご連絡ください。提出書類等をお知らせいたします。

詳しくは、ホームページでもご覧いただけます。また、見学も受け付けています。

選考方法

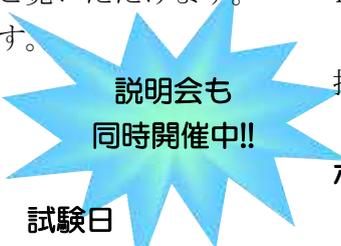
- ①書類選考(事前提出書類)
- ②面接試験

書類提出締切日(必着)

- 第1回 8月26日(水)
- 第2回 11月25日(水)

試験日

- 9月9日(水)
- 12月9日(水)



面接場所、郵送および問い合わせ先

社会福祉法人サンフレンズ 本部事務局
〒167-0023 杉並区上井草3-33-10
TEL: 03-3394-9833 FAX: 03-3394-9834
(西武新宿線 上井草駅南口より徒歩2分)
担当: 中山

ホームページアドレス:

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス:

nakayama-jimu@3friends.or.jp

感謝の気持ちを込めて

大澤 渉 元理事(2003年12月1日～2008年4月1日まで就任)が6月26日にご逝去されました。ここに生前のご指導・ご支援に感謝申し上げ、河周子理事からの追悼文を掲載いたします。

大澤さんは、杉並区保健福祉部高齢者担当部長時代の2003年12月、わが法人の理事に就任してくださいました。誠実なお人柄で貴重なご助言を種々寄せてくださいました。

また、区役所退職後は、四団体のひとつNPO法人「新しいホームをつくる会」の常務理事としても、積極的に事業を展開してこられました。

在職中に検診で肺がんとわかり、早期退職。その後の人生を幼児期から過ごされたことのある「永福地域の福祉」に全力投入されました。59歳、早いご逝去が悔やまれてなりません。在りし日のご厚情に深謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

地域活動の紹介 第5回

永福ふれあいの家の行事には、近隣の幼稚園、小学校、中学校や児童館、障がい者の方々を招き、交流の機会を作っています。地域とともにご利用者を支えていくことで、地域と親しい関係作りを進めています。

区立和泉中学校生徒会の皆さん

永福ふれあいの家には、毎月第一土曜日に区立和泉中学校の生徒会の皆さんが来てくれます。

生徒会の皆さんは、「おはようございます！」と元気よく挨拶をした後、ご利用者の隣に座り、一緒にお茶を飲みながらご利用者のお話に耳を傾けます。ご利用者が将来の夢について尋ねると、「先生になりたい。」と返事があったり、会話も膨らみます。

他にも生徒会の皆さんは、プログラム進行のお手伝いをしたり、実際にプログラムに参加して楽しんでしています。フロアーには笑顔と笑い声が広がっています。



<さいころゲームで盛り上がりました>

区立向陽中学校吹奏楽部の皆さん

区立向陽中学校吹奏楽部は、年に3、4回ほど永福ふれあいの家で演奏会を開きます。

クラシックだけでなく童謡など、ご利用者がよく知っている曲も演奏してくれます。例えば「茶摘み」では歌を聴きながら、ご利用者がリズムに合わせて手遊びをします。また、ご利用者が演奏に合わせて大きな声で歌いながら、タンバリンなどの楽器も鳴らして、ひとつの曲ができあがり素敵なハーモニーが奏でられます。

また、吹奏楽部の皆さんは、演奏会以外にも昨

年の納涼祭で盆踊りに参加してくれました。たいへん賑やかな納涼祭になりました。



<区立向陽中学校吹奏楽部の演奏風景>

区立永福小学校との交流

永福ふれあいの家では、生徒の皆さんにきてもらうだけでなく、ご利用者が外出して学校訪問もしています。

5月には、近隣の区立永福小学校へ鯉のぼりを見学に行きました。後日、永福小学校よりご利用者の書いた七夕の短冊を校内に飾りたいとお話があり、ご利用者にそれぞれの願いを込めた短冊を作っていただきました。七夕当日、ご利用者が永福小学校へ伺い、道路沿いのフェンスにずらりと並べられていた七夕飾りを見た後、副校長先生と記念写真を撮りました。



<中央：副校長の碓 寛さん>

これからも私たちは、地域にお住まいの方々と
の交流・連携を大切に、いつでも笑顔のあふれて
いる地域作りを目指します。

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2009年5月1日から6月30日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》 畑及武子様・宗澤勝郎様・加藤ヒサ子様・有福雄一様・大西久江様・宮本正勝様
匿名希望3名

《物品等》 阿久澤裕子様・森下清四郎・田中田記子様・渡辺歌子様・加藤ヒサ子様・有福雄一様
秋元恒朝様・山本ふじの様・南雲和子様・望月正子様・匿名希望12名

ボランティア紹介 第36回

お茶を楽しんでいただけるように



<左：川畑さん 右：清野さん>

今回は、和泉ふれあいの家に2か月に一回、お抹茶を点てにみえる清野勝子さんと川畑満枝さんをご紹介します。この日は、6月ということで単衣の小紋の着物を着ていらっしゃいました。

清野さんは6年前からボランティアとして、当初はお話し相手の活動をしていました。ある日、清野さんがお正月にお抹茶をご利用者に味わっていただきたいと提案し、それから、お友達の川畑さんとの「お茶会」が始まりました。「お茶会」では、礼儀作法を気にせず、ご利用者に自由に召し上がっていただいています。また、お抹茶の濃さも、ご利用者それぞれに合わせて調節してお出ししています。

ご利用者からは、「最近お抹茶を飲むことが少なくなっちゃったけど、お茶をやっていたので懐かしいわ」、「日本に生まれて良かった」との声が聞かれます。

また、「お茶会」の日にはおやつに和菓子をお出ししています。清野さんは、たとえば、和菓子が紫

色なら、「紫陽花」と名をつけるなど、和菓子を季節の花にみたくてご利用者にふるまっています。「お茶は総合芸術」と言われるように、季節感にも配慮されます。

今後の活動では、ご利用者と一緒にお抹茶を点てたいとお話ししてくださいました。

眠そうなご利用者も、「お茶会」の席に座ると背筋をピンと張って、清野さんと川畑さんがお抹茶を点ている様子を真剣に見ています。皆さんお抹茶を飲み終わると、「おいしかった」と笑顔になります。そして、最後は、職員一人ひとりにもお抹茶を点て、私たちもほっと安心できる時間を過ごしています。一服のお茶を通じて、お二人の優しさがご利用者にも伝わります。



< 『紫陽花』の和菓子です >

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03 (3394) 9833

FAX : 03 (3394) 9834

担当 : 河野・小川・中山

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp